

中国民楽

ロックからニューエイジまでこなす

中国民族音楽、略して中国民楽は、最近、「女子十二楽坊」のヒットで勢い付いているようである。

伝統楽器で構成する「民楽バンド」は、古代壁画にも残るようにその歴史は古い。近代には西洋の交響楽団の影響を受けて中国楽団のオーケストラも登場している。演奏家は国が育成しており、女子十二楽坊はこういう基礎があったからこそ生まれたといえる。

西洋では伝統楽器を使ってロックや流行曲を演奏するのはすでにトレンドとなっているが、中国ではまだ始まったばかり。中国古来の伝統楽器でロックや流行

曲となると意外に思う人も

いるだろう。しかし、実は中国の伝統楽器はそれほど伝統的なのではない。これまで大胆な改良を繰り返して、楽器の形や演奏方法を変えてきた。むしろ日本の伝統楽器の方が、中国から輸入した楽器の原型をほぼ保っており、中国の伝統を守り続けているといえる。

女子十二楽坊を見ると、主に二胡、古箏、揚琴、琵琶、揚琴、笛を使用している。箏は日本の「おこと」

の原型だが、日本の箏が唐代に伝えられた箏の形を守り基本的に弦を13本としているのに対し、中国の箏は弦が21本または25本が主流

で音域が広い。

琵琶は日本ではバチで弾くのにに対し、中国ではすでにバチは使用しなくなっており、5本の指に爪のようにものを付け、すべての指を器用に動かして弦を弾くように演奏する。弦は4本または5本と昔と変わらな

いが、日本の琵琶のフレットが6本しかないのに対して、中国の琵琶は25本または30本以上付いたものが主流。それだけ音域が広く、多彩な演奏ができる。

女子十二楽坊の前列で並んで弾いている楽器が胡琴だが、胡琴は二胡、中胡、高胡、馬骨胡など地方や民族で種類がいろいろある。

そして、台に弦を張って2本の棒で叩くように演奏しているのが揚琴だ。この二つの楽器は元明代に中東から中国に伝わったが、残念ながら日本に伝えられることはなかった。

1950年代にも箏、琵琶、胡琴など弦楽器の弦を従来のシルク製から金属製に変え、重量感のある音を出せるよう改良が加えられている。この金属系の音色がロックやポップミュージックに合うのかもれない。

中国楽器は今も進化を続けている。以前、私はエレクトリック琵琶の視聴に立ち会ったことがあるが、その耳をつんざくような激しい音には驚いた。中国楽器がハードロックに挑戦する日もそう遠いことではないだろう。

さまざまなジャンルに挑戦を続ける中国民楽。ここで紹介する以外にも、たくさん斬新な作品が登場している。今後、どんな新しい音を聴かせてくれるかなかなか楽しみだ。

新バンドが続々と登場

女子十二楽坊の売り方にヒントを得たのか、中国では新たな民楽バンドが登場し始めた。まず最初に、広州を拠点にする「芳華十八」が登場。ちなみにバンド名と人数は関係なく、18人で構成されているわけではない。広州の音楽学校を出た若い実力派を集め、演奏の腕だけでなく、元気ハツラツなところも売りの中国民楽の「モー娘。」といったところ。現在、広州を拠点に活動するニューミュージック系の民楽バンド「双方出撃」と組んで香港のテレビにも出演している。それから続いて、この4月には

湖南省で女性民楽家総勢16人から成る「天下鳳凰女子民楽組合」も結成された。このほか北京では女性太鼓奏者の「紅桜東女子打撃楽団」がすでに活躍しており、中国民楽界は女性アーティストの活躍がめざましい。とにかくすぐに女性演奏家を大量に集められるとはさすが中国。





LIU SOLA
藍調在東方 -Blues In The East
 1994年
 AXION / 日本フォノグラム

京劇独特の歌い回しと琵琶の音色にニューヨークのブルースとジャズを合わせた実験的作品。北京生まれの作家&音楽家の劉索拉が自ら作曲し、歌っている。京劇「昭君大塞」などの名場面がブルースのリズムになぜかしっかり合う。ちょっと通好みの音作りだ。



高韶青
卡門幻想曲 -Carmen Fantasy
 1995年
 ROI PRODUCTION

幼少から天才二胡奏者と呼ばれた中国の高韶青が、弦がたった2本しかないこの楽器で西洋音楽の名作である「カルメン」や「マスネの「瞑想曲」、ツゴイネルワイゼン」を見事に演奏する。そのテクニックは必聴。中国伝統曲、創作作品も納められている。



欧光勳
二弦風雲
 1997年
 MUSIC IMPACT

台湾の若手二胡奏者を代表する欧光勳が、台湾、イギリス、フランス民謡を優しく切なく奏でた作品。ヨーロッパの民謡を二胡とアコースティック・ギターで郷愁あふれるすてきな音に仕上がっている。一人静かに聞いて癒されたいという時におすすめかも。

進化する中国の調べ



楊小琳
禱樂 -I Take You There
 1999年
 HUGO PRODUCTION

中国の「ニューエイジ系歌手」楊小琳の澄んだ歌声と中国楽器の伴奏が耳にとっても心地よい。中国民謡からインドネシアの「ブンガワンソロ」、日本の童謡「あかたんぼ」まで、ポップにかっこよくまとめたワールドミュージック系民謡ともいえるおすすめ作品。



双方出撃
Two Heroes
 2003年
 九洲音像出版

10種類以上の中国楽器を弾きこなす中国民謡界の魔術師・方錦龍と、洋楽界の貴公子・方奕が広州で結成した「双方(二人の方)」というバンド。二人が演奏しながら歌も歌う。懐メロと中国民謡をミックスさせた曲調で、どこかあの兄弟演歌歌手の「狩人」風。



中国広播民族楽団
新時代 -New Era
 2003年
 DECCA RECORD

中国広播民族楽団と中国でも人気が高かったピアニストのリチャード・クレーダーマンが、コラボレートした作品。中国民謡がフランス的に解釈され、なかなかエキゾチックな仕上がりになっている。中仏の一流演奏家によるレベルの高い演奏は聴きごたえあり。